

地域高規格道路 松本糸魚川連絡道路
道路計画の今後の進め方と手続きに関する説明会（質疑応答要旨）
日時：令和8年6月14日（日）午後2時から午後4時
場所：サン・アルプス大町 2階 大会議室

○質問 1-1

- ・ルート帯選定段階のABCルート帯はいずれも橋梁を新設することになるが、蓮華大橋を使うなど無駄な税金を使わず既存の道路を使ったら良いのではないのか？

●回答 1-1（大町建設事務所）

- ・地域高規格道路は、概ね60kmで走行できるように整備する。現道では交差点が多く、現道を活用するには交差点の立体化が必要となる。現道の両側に側道整備をすると多くの家屋移転が必要になり、新たなバイパスを造るために、ABCルートを提案した経緯がある。

○質問 1-2

- ・市の負担額が一切公表されていない。地元の土建業者の見積では、IC一つ造るのに20億円～80億円はかかり、全体では100億円は超えると予想されるため、事前に財源を示してほしい。多くの市民は全部県が事業費を負担し、市の負担はゼロだと思っている。

●回答 1-2（大町建設事務所）

- ・松本糸魚川連絡道路は県の事業として実施し、基本的に本線の整備は県が進め、往来ができなくなる市道の付替や機能補償としての側道整備も県が実施する。側道をどこに設けるかは詳細設計が進む中で、市と連携して検討する。道の駅整備については、計画が具体化していないので、現時点で不明である。

○質問 1-3

- ・市の負担額は100億円を超えるのか？

●回答 1-3（大町市）

- ・工事費の確定には詳細設計が必要。本線の工事費や機能回復のための市道等の付け替え工事に関する負担金はありません。将来的に市の費用負担が発生した場合は、市議会で説明する予定です。

○質問 1-4

- ・大町ダム再編との関係について、昨年から土砂の搬出が始まっている。北陸地整はすでに100年間土砂を搬出することを表明した。ただし、処分先が決まっていない。東電に確認したところ、政府が決定したことであり、大糸線で運ぶことも検討したが困難との回答があった。なぜ市は知っていることを公表しないのか？

●回答 1-4（大町市）

- ・土砂を毎年搬出することで計画が進んでいる。千曲川河川事務所が事務局となって、大北地域での活用について議論を進めている。国は地域で活用する方針がある。

○質問 1-5

- ・決まっていることは、広報で発表して欲しい。

●回答 1-5（大町市）

- ・これから様々な部分が決まり次第、市民の皆様へお伝えする。

○質問 2-1

- ・盛土について、構造は以前より検討されているが、盛土規制法との関連でルート帯が広くなったりはしないのか？

●回答 2-1（大町建設事務所）

- ・P27 で盛土の構造を記載しているとおり、道路構造令に基づき計画している。

○質問 2-2

- ・大町ダムからの土砂はどのように活用するのか？砂は盛土材として適していないと思うがいかがか？

●回答 2-2（大町建設事務所）

- ・大町ダムの土砂を盛土に使用可能かは、現在検討していない。今後詳細設計時に盛土材をどこから持ってくるか検討していきたい。

○質問 3

- ・過去の説明会で、ダムからの搬出土は考えていないが、今後検討することもありうると言ったが？

●回答 3（大町建設事務所）

- ・語弊があって申し訳ない。どの土砂を使うかは未定。

○質問 4-1

- ・都市計画原案から都市計画の確定までの期間は？

●回答 4-1（大町建設事務所）

- ・P30 に今後の流れを示した。公聴会や意見書の提出により期間は変動する。参考までに、安曇野道路では、概ね1年間を要している。

○質問 4-2

- ・地域の神社の代表をしている。例大祭で使う舞台を参道に引き込むなど、影響が出ると思うが、今後どのタイミングで話があるか？

●回答 4-2（大町建設事務所）

- ・P29 において、今後の流れを示している。道路詳細設計において、地元の皆様にご意見を伺いながら、進めたいと考えている。

○質問 4-3

- ・要望は新規事業化の時になるのか？今は要望できないのか？

●回答 4-3（大町建設事務所）

- ・随時要望をお伺いしている。いただいた意見は、詳細設計で反映したい。

○質問 5

- ・P21 のCルートの地図では、国道 147 号との交差にできる IC は、一つの記号となっているが、ハーフ IC をやめて、一つになったのか？

●回答 5（大町建設事務所）

- ・前回ご説明のとおり、上り下り方向それぞれの分離構造となる予定。

○質問 6

- ・用地補償について、事前にどういう準備が必要か？用地交渉の期間は急がされても困るので、期間を長めにとってほしい。

●回答 6（大町建設事務所）

- ・用地補償に先立って、物件調査をする。用地交渉の時期は調整できるので、ご意見は賜った。

○質問 7

- ・P20 で最適ルート帯はCルートというが、市街地に近いため、「住宅への影響が比較的大きいが」という記載に引っ掛かる。去年の説明会でも不安の声が多くあったが明確な説明がなかった。P31 の今後の予定で、詳細設計時に対策を決定するとなっているが、騒音、振動、日照、景観に対して、これから検討して、その時考えるというのは納得できない。景観も家の前に壁が出来る人もいる。Cルートが一番多くの家が当たることに納得できない。住宅への影響が「比較的大きい」ではなく、「とても大きい」に訂正すべき。

○質問 8

- ・県や市から情報公開制度で文書を得ている。先ほどの件で言うと、住宅地を一番潰すCルートを、説明会の中で「比較的影響が大きい」と説明したが、市長が説明資料の「大きい」に対して「比較的」という言葉を追記するよう指示し、Cルートが住宅に一番影響が生じることを和らげる表現を県が受け入れてしまった。このことについて、私は残念に思う。

●回答 7, 8（大町建設事務所）

- ・ABC ルートは、どのルートを通っても、公共事業を実施するにあたって、土地をお持ちの方に譲ってもらわないと進まない。AB よりもCの方が住宅地への影響が大きいと認識しており、用地交渉については、誠心誠意対応したい。

●回答 7, 8（大町建設事務所）

- ・この文章について、「比較的大きい」ということで、文書の訂正は考えていない。

●回答 7, 8（大町市）

- ・P12 の ABC の 3 つのルートと比較するために述べた言葉であり、市の内部で検討したものである。なぜCルートにしたのかは、P21 の赤い線で用途地域を示した市街化の区域と農振地域の間を縫うことで、市街地に近く、農地への影響を小さくすることと考えた。扇沢大町線との交差点、槍ヶ岳線など住宅が多くあり、ご迷惑をおかけしますが、誠心誠意対応してまいります。

○質問 9

- ・松糸道路そのものを否定はしないが、市街地に盛土で万里の長城を造るのは疑問だ。本道路計画は、現道活用を基本として、H20 に計画されたもので、市街地はバイパスとして検討してきた。県は現道活用を検討しなかったのか？バイパスが必要という調査結果が出てこない。当時オリンピック道路の速度を調べた記録はなく、国道しか調べていない。国道が遅いのでバイパスとしている。人口が減っていく中で、20 年も工事にかかるような道路が、盛土で地域を分断し、沿線の人困っている。人生設計を壊されている。大町市の将来を想えるような話では進んでいない。住んでいる人の意向調査などしていない。大町市が地域へ説明していることが無い。沿線の人たちの思いをまともに寄り添って進めて行く人がいない。人口がますます減る中で、本当に必要なのか、市民が納得する形で見直してほしい。

●回答 9-1（大町建設事務所）

- ・県として、大町市街地がより良くなるように、P19 や P20 のとおり、郊外が無秩序に拡大することの抑制などの効果があり、これから都市計画原案の中で、松糸道路と結びつくように進めなければならない。用途地域の西の縁を進むことから住宅地への影響は大きいですが、これまでの説明会などにおいて、市民の皆様と相談する中でCルートは最適であると選定した。県と市では相談窓口を設置しておりますのでご利用ください。

●回答 9-2（大町市）

- ・盛土構造は構造物としては非常に大きいですが、高架橋を組合わせることも考えていく。市街地を全て高架橋にすると、新潟平野における上越新幹線のように水田地帯を通り抜けるので、違和感がある。コンクリート構造物で繋げる事は景観になじまない。雪が多い地域で高架橋の除雪・排雪することは困難と考える。盛土を基本とすると、緑が復活する。高速道路では、緑が回復することで景観へのインパクトが小さいと考えている。人口減少だからこそ、大町市にとって必要な道路網の構築、この地域だけが空白地帯の解消として、課題を解決するために必要と考える。

○質問 10

- ・大町市は知名度が低い。白馬や安曇野の間と言わないと伝わらない。大町市のいいところはアルプス。説明資料の表紙の写真が魅力的で、この景観を子供たちにつなげていかなければならない。しかし、松糸道路が載っていない。また、ABC ルートが市役所寄りである。大町市のビジョンとして、企業を呼んで、県外や世界からくる人にアピールするビジョンを教えて欲しい。今後の物価高騰もあり、将来への負担を考えて半地下構造にするなど、考えを整理していただきたい。

●回答 10-1（大町建設事務所）

- ・表紙の中央あたりに松糸道路は載っている。また、高瀬川沿いは浸水想定区域になるので、地下構造にすると浸水リスクがあるため、盛土で計画している。

●回答 10-2（大町市）

- ・知名度の低さ、観光客が来ても知名度に繋がらない、個性的な地名があるわけではないのが実情。何とか知名度を上げようとしているが、なかなか地域ブランドの向上につなげていない。観光としては立山黒部アルペンルートに 90 万人来るが、山岳ルートへ向かい、大町に泊まるのは 1 泊くらいで、滞在につながらない。平地観光につながるように観光協会とともに取り組んでいる。観光の構造を変えるとともに、様々な地域づくりの活動している人たちが輝けるようにしたい。また、市役所に近いところに寄せた意図はない。災害があった時に、救命では市立大町病院や消防本部に近いところ、また、市街地に近いことから、通過型でなく寄ってもらえる。危機管理に必要な施設に近い。ご理解願いたい。

○質問 11

- ・C ルートに納得できないのは住宅地を多く通る。来週に選挙があるが、市民に ABC ルートのアンケートや、完成する頃に使う小中高生の授業にするなど、みんなで道の事を考える機会があれば理解が深まるのでは？みんなで興味を持ってもらうなど方法はないか？生まれも育ちも新潟で、盛土があるのは川沿いだけ。大町で言うと高瀬川大橋～蓮華大橋まで。みんなが考えてみんなが納得する方法はないのか？

●回答 11-1（大町建設事務所）

- ・Cルートを決めるまでには59回の説明会で地区の意見交換を重ね、総合的に判断し決定した。ルートを変更することは考えていないが、広く周知していくことを考えていきたい。

●回答 11-2（大町市）

- ・出来るだけ人家から遠いところを走ることを考えるのも一つの方法。新潟でも高速道路が市街地を通過している。地形上の制約によるところもある。大町市では、東側ルートでは山に近すぎる上、ICから市街地が近く、その先の観光地に向けて渋滞の発生が懸念される。Cルートを相対的に評価したことをご理解いただきたい。

○質問 12-1

- ・盛土が緑になると言ったが、誰が管理するのか？草刈りをやる人も減っている。盛土になった時は人手が大変。

●回答 12-1（大町建設事務所）

- ・既設道路の草刈りなどには地域の皆様にご協力いただき感謝している。盛土の維持管理については県で実施予定。

○質問 12-2

- ・選定理由が不透明だ。アセスメントしてください。アセスをしないと納得しない。

●回答 12-2（大町建設事務所）

- ・環境アセスメント実施の要望をいただいたが、アセスの対象となる延長ではないため、今まで進めてきた選定方法でご理解いただきたい。

○質問 13

- ・松糸道路が出来ることに反対しないが、観光客をどのように呼び込むことを考えているのか？白馬ではインバウンドや都会からの富裕層などで混雑している。そんな中、白馬を中心に観光客を飽きないようにするかで地元の人は悩んでいる。大町は土地が広くて景色が良く、水が良いのいいところ。しかし、オリンピック道路を上一交差点に向けて、アルプスを写真に撮ろうとしても、電線ばかりで、景観が悪い。電柱が蜘蛛の巣のように景観を阻害する。空中と山と、観光として見せ方を考えて欲しい。県と市でどのように考えているか教えて欲しい。

●回答 13-1（大町建設事務所）

- ・松糸道路の盛土に電柱は立たない。盛土の側道に出来る電柱については、詳細設計の中で検討を進めるが、電柱の配置については現時点で検討していない。引き続きご意見をいただきながら、電力会社と調整をしたい。

●回答 13-2（大町市）

- ・電柱の地中化は、沿線の電気需要量が少なく、大町市では難しい。地元負担も大きい。白馬村では駅前を進めており、大町市でも検討したが、採択されなかった。ご提言は感謝する。

○質問 14

- ・災害に強い、医療に貢献するなど、大町市が説明しているが、本当に有効か？市内では医療のために松糸道路は使わないのでは？医療の事を言うのなら、木崎から白馬まで一本道で、そちらの優先度が高いのではないか？冬に毎回通るが、渋滞やスタックが多い。松糸道路に反対ではないが、全体を見て区間を設定し、木崎から北を大町市街地の完成後ではなく、地域のために考えて欲しい。

また、市には子供を安心して産める大町市にしてほしい。産婦人科もない。

●回答 14-1（大町市）

- ・市街地の人は医療のために松糸道路を使わないが、白馬村や小谷村は入院できる医療機関が無いので、ルートが最終的に糸魚川まで規格の高い道路となれば、役割が非常に大きい。道路については、様々な課題を抱えている所から手を付けている。課題の多い市街地を優先した。ルート全体で現道活用としているが、大町市街地と白馬市街地はバイパスと最初から定められている。ご指摘はその通り。

●回答 14-2（大町建設事務所）

- ・木崎以北よりも、大町市街地の方が走行の定時性が確保されていないので優先している。木崎以北は概ね 60km/h の定時性が確保されているが、何もしない訳ではなく、調査や検討も進めている。大町市街地の進捗状況を見ながら、木崎以北の検討を引き続き進めて行きたい。

○質問 15

- ・法定速度は 50km/h だ。60km/h は法令違反になるが、県が交通違反を認めるのか？

●回答 15（大町建設事務所）

- ・現在の道路構造で 60km/h の走行が可能で、旅行速度調査の結果として説明した。

○質問 16

- ・P21 の地図では、用途地域の縁ではなく、用途地域に道路が通ることになっている。都市計画決定後の詳細設計で相談するとなっているが、都市計画決定となれば、拒否とか、変更するなどは難しいのでは？都市計画決定の検討に入る前に、具体的に該当するルート沿線の人に対して、相談に向くことを約束してほしい。勝手に進めるのは、これから先心配だ。都市計画の検討の前に、住民に出向いていただきたいという要望。

●回答 16（大町建設事務所）

- ・ご要望として承る。昨年度の説明会で概ねの道路構造についてはご説明し、ご意見もいただいた。騒音の予測なども、詳細設計をしないと側道の位置も示せないなので、ご理解願いたい。

○質問 17

- ・県の言う 60km/h にこだわるので、大町市街地を優先し、木崎以北を後回しにしている。小谷村では市街地にトンネルでバイパスを造るといった発想があるなら木崎以北に心配している人がいるので、市民のために木崎以北を進めるか、市街地とセットで考えるなど、市民に寄り添った考え方にならないのか？人口減少対策の中で、これからの大町市を市民で考える場を設けて欲しい。きちんと造っていただきたい。県とは松糸道路の公害調停をしている。ぜひ一緒に検討の話し合いの場を。これは直接話し合う法律に基づく制度。関心ある人は、ぜひご参加ください。

●回答 17（大町建設事務所）

- ・木崎以北を優先することへの要望ですが、区間を区切って事業効果を発揮するために、大町市街地の定時性だけでなく、人口減少対策や観光対策などまちづくりの観点も含めて優先している。木崎以北の現道活用区間の検討を合わせて進めて行く。